

自然に触れて心豊かな「生きる力」を育む

1泊2日野外キャンプ「あつまれ子どもたち」

自然に親しむ野外体験

町青少年健全育成町民会議などが主催

8月19日（火）～20日（水）川平キャンプ場で、野外キャンプ「あつまれ子どもたち」が開催されました。

1泊2日のキャンプを通して、緑川などの自然に親しむとともに、子どもたちが共同生活を行うことで団体行動の大切さを体験することなどを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議

（奥名克美会長）と町教育委員会が主催。町内の小学生24人が参加しました。

子どもたちは、各班に分かれて協力して行動。1日目はテントの設営や竹のはしづくりを体験。昼食のカレーライス、飯ごうで炊けたおこげご飯にびっくりしながらも、みんなで楽しく食べました。



の自然に親しむとともに、子どもたちが共同生活を行うことで団体行動の大切さを体験することなどを目的に、甲佐町青少年健全育成町民会議



● 各班に分かれ、協力して昼食のカレーライス作り、緑川で水遊びや自然の中でのびのびと遊ぶ子どもたち

午後は、環境学習として熊本県自然観察研究会代表の小林修さんを講師に、緑川の水質検査などを実施。水温や水の透明度を計測した後、水質検査薬などを使って成分を測定しました。検査の結果、川平キャンプ場周辺の緑川は「不快に感じない水環境」ということが分かり、小林さんが「この水環境にすむ生き物を守るために、みんなで自然を大切にしましょう」と呼び掛けました。

学習した後は川での水遊びや野外ゲームなどを体験し、夕食ではバーベキューを楽しみました。

2日目の野外料理では、アメリカンドック作りにも挑戦し自分たちで作った竹くしに、生地を付けながら炭火で焼き上げ、熱々をほおばりました。



● 水環境の状態を知るために水質検査を実施。検査の結果、緑川はたくさんの生き物がすめる環境であることを学習

